

## 第5回米沢市環境審議会 会議録

### 1 日時

令和3年11月10日（水） 午後3時～午後4時15分

### 2 場所

米沢市役所 4階 第3委員会室

### 3 出席者等（敬称略）

#### (1) 出席した委員

南後 淳、柴田 正孝、澤田 美恵子、滝澤 誠、深瀬 順子  
塩越 憲夫、山口 正廣、本間 精、鈴木 雄一

#### (2) 欠席した委員

白壁 洋子、尾形 一子、近野 敏子

#### (3) 事務局職員

安部道夫市民環境部長、石黒龍実環境生活課長、佐藤博人課長補佐、  
栗野真一朗環境主査、後藤大樹主任、吉池賢太郎主任

### 4 会議の概要

#### (1) 開会

#### (2) 会長挨拶

開催に当たり、柴田正孝米沢市環境審議会会長から挨拶がなされた。

#### (3) 協議事項

事務局の説明後、各委員から発言がなされた。

## 会長

素案について説明がありました。前回までの各委員の意見を取り入れ修正したものです。特に前回まで記載のなかった第5章を中心にして、全体についてご審議願います。

## 委員

前回よりもスリムになりましたが、例えばP69とP72にある表について同じような内容が続いているように見受けられます。このような表は一つにまとめることはできるでしょうか。

## 事務局

見やすい記載方法を検討します。

## 委員

前回指摘したところは見やすく整理していただきました。P88の環境学習のところで、現場の見学会を以前行っていたと思いますが、それに関する記載がありません。今はコロナ禍で仕方ありませんが、現場を見て学習する機会は重要であると思います。例えば再生可能エネルギーの発電所等の見学に関する事項を盛り込んではいかがでしょうか。

また、地域循環共生圏に米沢市が採択されているが、具体的にどのような動きがあるのか、その一端でも市民が確認できるような記載があればいいと思う。

SDGsが現場でどのように展開されているのかについては、例えば琵琶湖の環境改善をテーマに具体的に動いているところがあるので参考にしてはいかがでしょうか。

## 事務局

既に盛り込まれているものと認識していますが、追加できる文言があるか確認します。

## 会長

SDGsの取組については現在まとめられつつあります。当初はコンテスト形式で進める案もありましたが、市では既に米沢品質ブランドアワードをコンテスト方式で行っているため、SDGsについてはまずプラットフォームを構築した上でそれを具体的な取組にしていくことになっているようです。

## 事務局

地域循環共生圏とSDGsの展開については、場所は異なるかもしれませんが丁寧に説明する必要があると考えています。

## 委員

スマートシティの実現という記載が削除されていますが、具体的に何をやるのかすこしわかりにくい印象があったのでこれでよいと思います。

## 会長

概念がわかりにくい言葉はなるべく使わないようにお願いします。

## 委員

以前のものより見やすくなったと思います。

## 委員

新旧対照表に地域循環型という言葉がありますが、どこまでを当該地域として含んでいるのか、はっきり表示したほうがいいのではないのでしょうか。それによって数値目標もだいぶ変わってくると思います。

また、バイオマスの製造については削除されていますが、これを含め説明がないまま削除されている文言があるような気がします。

例えば新旧対照表 P 28 の新旧対照表③-3 医薬品に関する記載の削除はなにか理由があつてのことでしょうか。同じく P 29⑥-2 についてはいかがでしょうか。

環境教育の推進に関しての P 38⑦が削除されていますが、こちらは特に残してほしいと思います。

## 会長

文言の整理の仕方はどうなっているか、具体的に指摘のあつた主な 3 か所について理由はありますか。

## 事務局

P 28③の-3 の医薬品に関する記述については、法令遵守に関することですので、本計画に盛り込む必要はないのではないかという考えです。P 29⑥については、地下水に関する実証実験が過去に行われていて、既に終了しているため削除したところです。

P 38 の⑦については、過去に小中学校に太陽光発電設備を設置した際にそれを教材にして行ってきた経過があります。今は環境学習会にシフトしているため、⑦と次の⑧を統合しているというスタンスです。

## 会長

地下水揚水については、商工会議所建設部会において地盤沈下対策として踏み込んだ施策を市に対しお願いしてきた経緯があります。今後も取組の継続をお願いします。

## 委員

中間見直し案については現行案で問題ないと思います。

米沢市も環境基本計画に記載されているとおり、これからは低炭素から脱炭素に移行していきます。太陽光発電や LED 等の普及が一層不可欠であると思います。

また、温室効果ガスを削減し、目標を達成していくために、事業者や市民に

広報していくことが必要です。そのための支援を惜しまないので、ぜひお声がけしてほしいと思います。

#### **委員**

- P55 からの第3章については、2として「基本理念」を追記するのが最適だと思います。
- 目指す目標値に類似した標記が5箇所ほどあるので、標記方法を再検討してほしいです。
- P71の舘山浄水場については今後5年で廃止予定であるので、機器の更新よりも、運転の工夫による省エネを推進してはいかがでしょうか。
- P73、74の浄水管理センターにおける汚泥の排出量と再資源化率について、現状は汚水処理のみになっていますが、ここに生ゴミを搬入し、消化ガスを取り出す取組を加えることができないでしょうか。
- 山形大学等との連携による温暖化対策や低炭素化の推進を行ってほしいので、P88にそのような文言を追加してもらえないでしょうか。

#### **委員**

大学としては歓迎するところだと思います。

#### **事務局**

大学の情報発信ツールとしても使っていただけるものと思いますので、追加を検討します。

浄水管理センターの汚泥処理と舘山浄水場の件については、担当課とも協議して記載内容を検討していきます。

#### **委員**

今回の修正でかなり具体的にわかりやすくなってよかったと思います。修正箇所はありません。

#### **会長**

一通りご意見はいただいたものと思います。全てに対し今すぐ事務局で回答することは難しいので、後日会長が事務局に確認します。今日の意見を内容に盛り込んでいきます。